

# 授業で教える英語ディベート [5 回目]

日本高校生パラメンタリーディベート連盟 理事 小林良裕

2020 年 5 月 4 日版

・全 11 回 × 各回 15 分～20 分 程度

---

## ◆ 【11 回の構成】

### 1) ディベート指導の背景知識[1]

- ・即興型と準備型
- ・日本におけるディベート指導の小史
- ・中高大の活動の現状

### 2) ディベート指導の背景知識[2]

- ・即興と 準備型の違い：議論の扱いに関して

### 3) ディベート指導の類型

- ・日本の大学の部活動での指導
- ・学校のカリキュラム内での指導の 3 類型

### 4) 具体的に教える内容 ① 議論の立て方

### 5) 具体的に教える内容 ② 質問の仕方

- ・fact / opinion を見分ける
- ・POI というものについて

### 6) 具体的に教える内容 ③ 反論の仕方

### 7) 小グループでの活動

- ・立論・質問・要約・反論の 1 人 1 役

### 8) 試合をさせる・資料の引用の仕方

- ・聞き方の指導、勝敗の決め方

### 9) ディベートと他の活動を組み合わせる

- ・Reading 教材のまとめとして
- ・Writing 活動のまとめとして

### 10) 「4 技能検定」&入試の指導と組み合わせる

### 11) 部活動での指導

- ・事例報告
- ・大会の種類

◆ ————動画内で引用・言及した動画 / website / 書籍一覧

・「大学入試合格のためのTEAP技能別問題集 ライティング/スピーキング」旺文社 (2016)

以下は、小林が書いたものです (Book3 だけ今現在、PDF 全文公開をしていません)

#### ◇ Book 1 「初めての英語ディベート」

- ・ Lesson 3 「スピーチ発表と質疑応答」
- ・ British Parliamentary Debate のフォーマット
- ・ 即興でスピーチ & Point of Information(POI)

#### ◇ Book 3 「英語ディベート高校授業用テキスト(教員用)」

- ・ イラスト描写の活動
- ・ Lesson 3 質疑応答(Question & Answer)

#### ◇ Book 4 「英語ディベート即興型 練習ハンドブック： 授業でも部活でも」

- ・ 「質問をする」「POI をする」



# Lesson 3.

## スピーチ発表と 質疑応答



### Contents:

Section 1. スピーチの伝え方

Section 2. 構成のあるスピーチをする

Section 3. Question & Answer

## SECTION 1.スピーチの伝え方

皆さんは、これまでにスピーチの原稿を用意することが出来たと思います。ここでは、英語のスピーチの伝え方に関して、注意する観点を説明します。

## ○ 話し方を評価する観点

- ① Eye contact (アイコンタクト・聴衆を見て話すこと)
- ② Vocal style (声の抑揚の付け方、声量、速さ)
- ③ Use of notes (ノートの用い方)
- ④ Body language (ジェスチャー・姿勢など)
- ⑤ Facial expression (表情)
- ⑥ Attitude (聞き手への態度、緊張・自信の表れ)



まず、①の Eye contact に関しては、スピーチをする時には、出来るだけ下を向かず聴衆と目線を合わせ、語りかけた方がよいということです。一般に、一点だけを見つめるのではなく、聴衆のいる空間を Z 字を描くように見つめるのが望ましいと言われています。

②の Vocal style とは、その名の通り、声の用い方に関する項目です。聞き取りやすい大きさか (小さいのも問題ですが、大きすぎるのも問題です)。強調するべきところで、間を置いたり、強弱の工夫をしているか、速すぎないか、という内容です。この Vocal Style の使い方が上手くなることが、発音の向上にも繋がります。

Eye contact と関連しますが、ノートをどのように用いているか、という項目が③ Use of note になります。ノートの用い方にはいろいろな工夫の仕方があります。紙を小さく切ったノートを複数枚用いる人もいれば、全くノートを使わない人もいます。この項目に関しては、ノートばかり見ずずっと下を向いていれば、聴衆に気持ちが伝わらない程度の理解で十分でしょう。

④の Body language では、スピーカーが効果的にジェスチャーを用いているか、またどのような姿勢でスピーチをしているかが問われます。ジェスチャーは、ノートを持っていると使えません。姿勢に関しては例えば、小刻みに、左右に振り子のように体を動かすスピーカーがいます。スピーチの初心者としては、それらを意識する程度で十分でしょう。

⑤の Facial expression を簡単に説明すれば、「嬉しいときは楽しそうに話し、つらいことを話すときは悲しそうな顔をしながら話す」という事です。

最後に⑥の Attitude では、スピーカーの与える全体的な印象を見ます。これまで、ボディランゲージや表情などを項目として挙げましたが、それ以外の要素で何か気が付いた点があればこの項目に含めてみて下さい。

### ◆ Task 1. 有名なスピーチの鑑賞

スピーチの名人、とよばれるような人のスピーチを見て、聞いてみましょう。以下の3つのスピーチは特に有名なもので、一度は見て、聞いてみた方が良いでしょう。YouTube といった動画サイトで検索して、探して見て下さい。

探したら、それぞれ冒頭の1分間だけ見て、前ページの話し方の6つの観点がどう活かされているか、話し合ってみて下さい。

1. John F. Kennedy (Washington, D.C. / January 20, 1961):  
*Inaugural Address, "Ask not what your country can do for you."*
2. Martin Luther King (Washington, D.C. / August 28, 1963) :  
*"I Have A Dream"*
3. Barack Obama (July 27, 2004):  
*Keynote Address at the 2004 Democratic National Convention*

### ◆ Task 2. 先生・先輩のスピーチ鑑賞

次は、先生や先輩に実演をしてもらいましょう。

同じ内容で、一回目は下を向いたり、早口で話すなど、スピーチの初心者がやりがちな過ちをしてもらい、2回目はいつものスタイルでスピーチをしてもらいます。終わったら、それぞれどう違い、どう伝わりやすくなったか話し合ってみましょう。

### ◆ Task 3. スピーチ発表会

次ページの評価用紙を用いて、簡単なスピーチ大会をしてみましょう（次のセクションの、「構成のあるスピーチをする」を終えた後でもよいでしょう）。トピックは、前レッスンの物を使ってください。ワークシートを人数分コピーします。

コピーしたワークシートを、切り取り線で切り取り、各スピーカーに対して1枚ずつ評価用紙を準備して下さい。評価項目について確認した後、トピックと準備時間を決めて、準備の出来た人からスピーチをします。聞いている人は、評価用紙に記入をしてください。コメントも必ず書いてあげてください。内容に関しては、General Comment の欄に記入して下さい。

1つ修正箇所を指摘するにつき、2つ以上良かったところを書いて下さい。全員がスピーチを終えた後、投票でベストスピーカーを選び、その人のどの様な点が良かったか、ディスカッションして下さい。最後に、評価用紙を集め、スピーカーに渡したら終了です。あるいは、参加者の投票で「ベスト・スピーカー」を1人選んでも良いでしょう。

Name of the Speaker: (       )

	Score	Comment (if any)
① Eye contact	1 2 3 4 5	
② Vocal style	1 2 3 4 5	
③ Use of notes	1 2 3 4 5	
④ Body language	1 2 3 4 5	
⑤ Facial expression	1 2 3 4 5	
⑥ Attitude	1 2 3 4 5	
General comment		

Name of the Speaker: (       )

	Score	Comment (if any)
① Eye contact	1 2 3 4 5	
② Vocal style	1 2 3 4 5	
③ Use of notes	1 2 3 4 5	
④ Body language	1 2 3 4 5	
⑤ Facial expression	1 2 3 4 5	
⑥ Attitude	1 2 3 4 5	
General comment		

Name of the Speaker: (       )

	Score	Comment (if any)
① Eye contact	1 2 3 4 5	
② Vocal style	1 2 3 4 5	
③ Use of notes	1 2 3 4 5	
④ Body language	1 2 3 4 5	
⑤ Facial expression	1 2 3 4 5	
⑥ Attitude	1 2 3 4 5	
General comment		

---

## SECTION 2. 構成のあるスピーチをする

---

ディベートのスピーチの特徴として、フォーマットがある程度決まっていることが挙げられます。アカデミック・ライティングを教わった事のある人にとっては見覚えのあるものとなりますが、ディベートのスピーチは以下の構成を持っていることが期待されています：

### ○ スピーチの構成

#### I. Introduction (導入)

- A. Opening Line (出だしの文句)
- B. Introduction of the topic (トピックの導入)
- C. Thesis statement (主題文)
- D. Signposting (案内表示)

#### II. Body (本論)

- A. Explanation of the 1st subtopic (サブトピックの説明)
- B. Explanation of the other subtopics (他のサブトピックの説明)
- C. ……

#### III. Conclusion (結論)

- A. Summary (要約)
- B. Indication of the speech end (スピーチの終わりの示唆)

あるスピーチは、まず Introduction (導入)、Body (本論)、そして Conclusion (結論)の3つの部分に分けられ、それぞれに特有の役割と構成要素があります。

まず Introduction では、挨拶などをした後にトピックを導入し、このスピーチ全体で何を伝えるのかまとめた1文を言います。このスピーチ全体の主張をまとめた文は、ライティングでは thesis statement と呼ばれます。最後に、これから自分が何を話すかを、Signpost (標識)を列挙することで示します。Signpost とは、スピーチ本論でのサブトピック名をまとめた短い名詞、あるいはフレーズを指します。新聞記事での見出しに対応します。

次に Body の部分では、Introduction で示した主張を具体的に説明します。聴いている人が、より容易に内容を理解できるように、本論はさらにいくつかの部分に分かれます。つまりは、ライティングにおける、パラグラフに相当する単位を複数述べることによって、ある一貫したメッセージを伝えます。

最後に Conclusion の部分では、伝えた内容をもう一度簡単に繰り返すことによって確かめ、スピーチの終わりを示す挨拶を述べます。それでは実際に、練習してみましょう。

#### ◆ Task 4. 自己紹介スピーチ

次のページのワークシートを使って(コピーして複数枚用意してください)、以下の中からトピックを1つ選んで 1~2 分間のスピーチを準備して下さい。準備が終わったら、ストップウォッチで時間を計りながら、話してみてください。

- |                                   |                               |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| ① My favorite book                | ⑥ My happiest moment in 2009  |
| ② My favorite food / drink        | ⑦ What I have learned in 2009 |
| ③ My favorite item (e.g. iPod など) | ⑧ My best friend              |
| ④ My favorite animal              | ⑨ My family                   |
| ⑤ My favorite pastime             | ⑩ My school                   |

#### ◆ Task 5. 「私のオススメ」スピーチ

以下のトピックから1つ選んで、聞いている人に何かを薦めるスピーチをして下さい。スピーチ時間は同じく 1~2 分間です。

- |                                 |                                    |
|---------------------------------|------------------------------------|
| ① You should eat (any food).    | ④ You should listen to (any music) |
| ② You should read (any book).   | ⑤ You should buy (any item)        |
| ③ You should visit (any place). |                                    |

#### ◆ Task6. 議論を含んだスピーチ

以下のトピックから1つ選んで、聞いている人を説得するスピーチをして下さい。スピーチ時間は、2~3 分を目標にして下さい。

- ① Our high school should abolish (廃止する) the school uniform.
- ② Students should be allowed to bring their cell phones (携帯電話) to school.
- ③ The mascot of our high school should be Kumamon.  
(くまモン以外でも、何か面白いものを学校のマスコットにしよう、というトピックで)
- ④ Our high school should keep penguins in the swimming pool.  
(ペンギン以外でも、何か面白い動物を飼おう、というトピックで).



## ◇Presenting a Structured Speech◇

### I ) Opening Line: Attention getter

Good (morning / afternoon / evening) everyone.

.....

.....

### II ) Introduction: Plan of your speech

(A) Topic: I am going to talk about .....

(B) Thesis Statement: .....

.....

(C) Signposts    1st Sub-topic: .....

2nd Sub-topic: .....

### III ) Body: Saying what you want to say

1st Sub-topic: .....

.....

.....

2nd Sub-topic: .....

.....

.....

### IV ) Conclusion: Summary and the indication of the end of your speech

.....

.....

Thank you.

Class (       ) # (       ) Name \_\_\_\_\_

## 自己紹介スピーチの原稿例

## (1) My Favorite Food

【CD Track # 6】

Good afternoon everyone. I am going to talk about my favorite food. It is Spaghetti Peperoncino. I love it so much.

I am going to tell you three things: how easily it is to cook, how healthy it is, and lastly and most importantly, how good it tastes.

First, I will tell you how to make Spaghetti Peperoncino so that you can see how easy it is to cook. It takes only four steps. First, cut garlic and hot pepper. Then, boil Spaghetti. Third, using a frying pan, roast garlic and hot pepper. Finally, mix them together with olive oil, salt, and black pepper. That's all. We do not need to spend a lot of time cooking, so it is very good when you are in a hurry.

Second, Spaghetti Peperoncino is healthy because it includes hot pepper, garlic, and olive oil. Hot pepper makes us hot, making our blood circulation better. Garlic is good for making energy. Olive oil is good for reducing your cholesterol level.

Third, Spaghetti Peperoncino is so tasty because it is mildly spicy, thanks to garlic and hot pepper. I love spicy food. The hotter, the better. However, there are some people who cannot eat too much spicy food. For them, this can be a good choice.

In conclusion, I have told you that Spaghetti Peperoncino is very easy to cook, good for our health, and tastes so good. So, we should eat this great food more! Thank you.

(244 words 李貴愛が高校1年次に作成)

## (2) My favorite Animal

【CD. Track # 7】

Hello everyone. My topic is "my favorite animal" and it is a dog. In my speech, I am going to tell you that dogs are very useful and good friends to us. First, I will tell you how they help people. Second, how fun it is to play with them. Third, how they make us more responsible people. So, let me explain one by one.

First, dogs can help people. I will give you some examples. As you know, dogs can guide people whose eyes are not good. With the help of dogs, those people can walk outside safely. Also, dogs can protect your home at night. If a thief breaks into your home, dogs will bark at him. In this way, dogs can warn you of the danger and protect your house and your life.

Second, dogs are good friends to us. You can play with your dog. You can

take a walk in the park with your dog. You can play Frisbee with your dog there. To play with your human friends can be sometimes difficult because we have other arrangements and a lot of homework. However, you will never feel lonely if you have a dog. In contrast to cats and most of the other animals, dogs need someone who takes care of them. You can be the one.

Finally, having a dog teaches us what it takes to be a responsible person. Having a dog can be extremely difficult because he or she wants to take a walk even when it is raining. We must give food to them. After sharing so much time together, they would die someday. They are not the TV games, which we can stop playing and simply throw away. They are living. As the owner of my dog, I have to be responsible for him. In this way, dogs teach us some important lessons on what it takes to be a responsible person.

In summary, if you have a dog, you will be able to have many great experiences and learn important lessons as I told you before. So, let's get a dog!

(352 words 小野暢思が中学3年次に作成)

### ○発表会を盛り上げる工夫

- ① 誰かが発表する時には、拍手。発表を終えたらまた拍手して下さい。
- ② 聞きながら、面白いと思ったら笑みを、その通りだと思ったら肯いて下さい。聞いている人のリアクションが無いと、とても話しづらいでしょう。逆に好意的な反応があれば、俄然スピーチも元気になります。
- ③ 全員がスピーチをやり終えた後で、上手かったと思う人を投票して見て下さい。そして、その人のどこが上手であったのか、話し合ってみて下さい。
- ④ 直した方がいいところを探す前に、その人のスピーチの良かったところを見つけて下さい。直すべき個所を1つ指摘するに対して、その人のスピーチの良いところを2～3つほど探して下さい。
- ⑤ 英語能力が十分に高い場合、あるいはスピーチの構成に慣れてきた場合は、準備時間を減らすか、あるいはトピックをくじ引きで決めて、その場で即興でスピーチして下さい。



## SECTION 3. QUESTION &amp; ANSWER

今度は、誰かのスピーチを聞き、内容確認の質問をして、要約を発表する練習をします。

## ◆ Task 7. 質問の練習

[手順]

- ① スピーチを1つ誰かに発表して貰います。
- ② スピーチを聞きながら、次ページのシートに記入をして、要約を作ります。
- ③ スピーチ発表が終わった後で、その内容について以下のフォーマットを用いて確認の質問をします。
- ④ 確認した後は、ワークシート Body(3)の箇所でそのスピーチについて自身の意見を示して下さい。
- ⑤ 最後に、そのスピーチの要約を誰か1人が発表します。
- ⑥ どれだけ正確・簡潔にまとめることが出来たか講評し合ってみて下さい。

## ■ Format for Questioning

Good [morning / afternoon / evening] everyone.

Let me ask ..... (質問をする相手の名前、または単に you) some questions.

## (1) 聞き取ったことの確認 (Yes-no questions)

- The topic of your speech was ..... . Is that right?
- You believe that ..... . Is that right?
- You have ( one / two / three ) reasons to support. Is that right?
- Your first reason was that ..... . Is that right?
- Your second reason was that ..... . Is that right?
- In your conclusion, you said ..... . Is that right?

## (2) 聞き取れなかったことの確認 (Wh-questions)

- What do you mean by saying ..... ?
- What was the topic of your speech?
- What was your opinion on the topic?
- What was your ( first / second / third ) reason?
- Could you clarify your example for the ( first / second / third ) reason?

Thank you.

## Making a Summary Speech

### ■ Introduction

- Good [ morning / afternoon / evening ] everyone.
- I would like to summarize the speech of \_\_\_\_\_ (スピーカー名).

### ■ Body (1)

- The topic of [ his / her ] speech was \_\_\_\_\_.
- [ He / She ] thinks that \_\_\_\_\_.
- [ He / She ] gave us [ one / two / three ] [ reasons / subtopics ] to support [ his / her ] opinion.

### ■ Body (2)

- First [ reason / subtopic ] was about \_\_\_\_\_ .
- [ He / She ] thinks that \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- Second [ reason / subtopic ] was about \_\_\_\_\_ .
- [ He / She ] thinks that \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### ■ Body (3)

Now, let me give you my opinion. I [ agree / disagree ] with [ his / her ] opinion because  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### ■ Conclusion

This is the end of my summary speech. Thank you.

Class (       ) # (       ) Name \_\_\_\_\_

Summary Speech Evaluation Sheet

## ■ The Name of the Summary Speaker : \_\_\_\_\_

## (1) Speech Manner

The number of questions	(         ) times
Speech Delivery	1   2   3   4   5

## (2) Matter

	Note (要約スピーチの内容をメモして下さい)	Score
Introduction		1   2   3   4   5
1 <sup>st</sup> reason		1   2   3   4   5
2 <sup>nd</sup> reason		1   2   3   4   5
3 <sup>rd</sup> reason		1   2   3   4   5
Opinion		1   2   3   4   5

(3) Total Score [                      / 30 ] (←単純に各 Score を合計して下さい)

## ■ The Name of the Summary Speaker : \_\_\_\_\_

## (1) Speech Manner

The number of questions	(         ) times
Speech Delivery	1   2   3   4   5

## (2) Matter

	Note (要約スピーチの内容をメモして下さい)	Score
Introduction		1   2   3   4   5
1 <sup>st</sup> reason		1   2   3   4   5
2 <sup>nd</sup> reason		1   2   3   4   5
3 <sup>rd</sup> reason		1   2   3   4   5
Opinion		1   2   3   4   5

(3) Total Score [                      / 30 ] (←単純に各 Score を合計して下さい)

## 【参考】 有名なスピーチの紹介

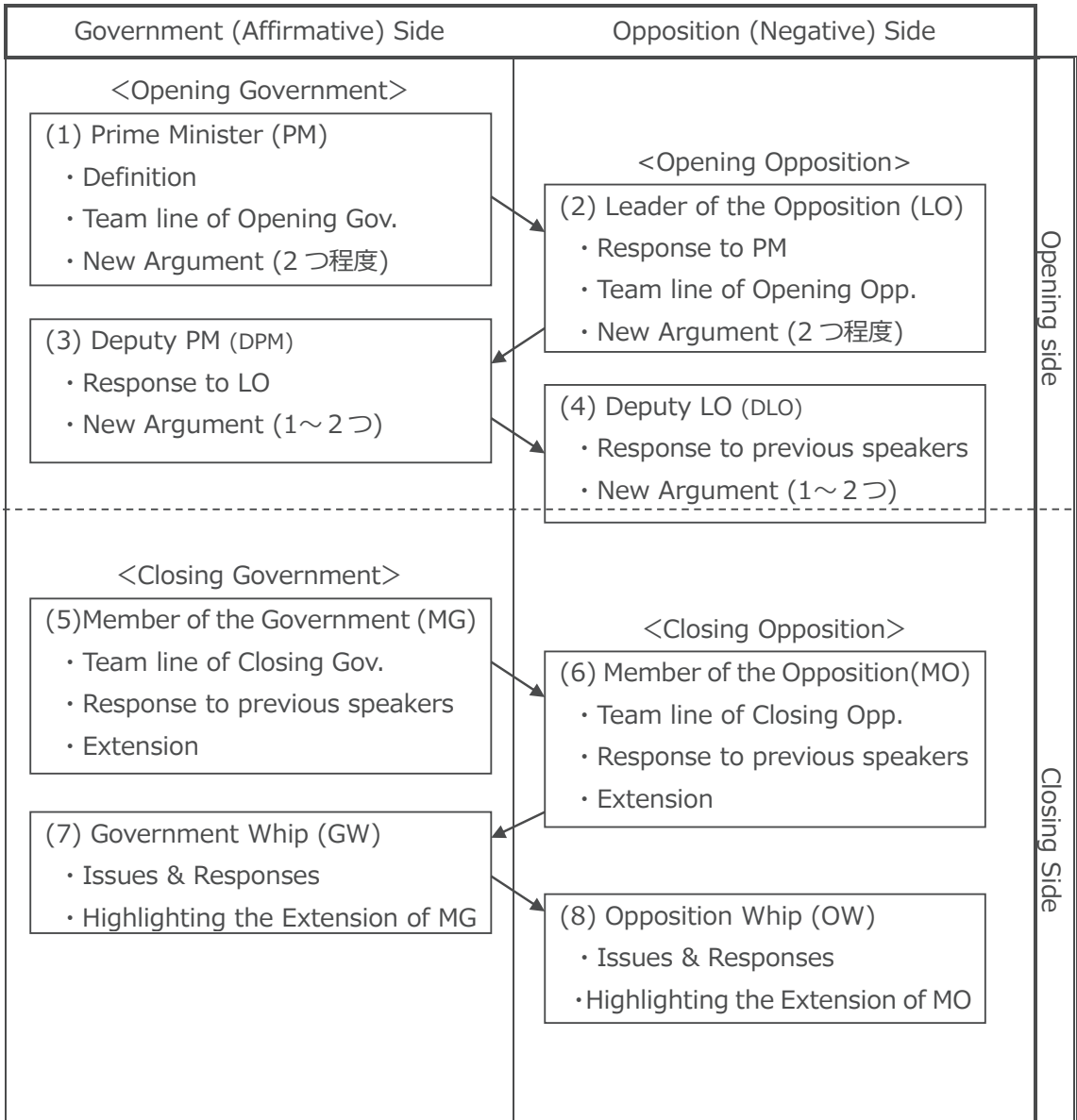
既に紹介した 3 つ以外にも、インターネットを利用すれば、英語の名演説を簡単に聞くことができます。以下に挙げたスピーチも、それぞれ聞くだけの価値があります。Google で検索すれば、音声・スクリプト、最近のものであれば動画も見つかります。ぜひ聞いて、気に入ったスピーチを 1 つ選び、その話し手に成りきってスピーチ練習をしてみてください。

### 有名なスピーチ（年代順）

1. Franklin Delano Roosevelt (December 8, 1941):  
*Declaration of War against Japan*
2. Douglas Macarthur (April 20, 1951):  
*"Old soldiers never die, they just fade away"*
3. John F. Kennedy (West Berlin, Germany / June 26, 1963):  
*Speech at the Berlin Wall, "Ich Bin Ein Berliner"*
4. Lyndon B. Johnson (March 15, 1965):  
*Address to congress on voting rights. "We Shall Overcome"*
5. Robert F. Kennedy (Indianapolis / April 4, 1968)  
*Remarks on the Assassination of Martin Luther King, Jr.*
6. Governor Mario Cuomo (San Francisco, CA. / July 16, 1984):  
*Keynote Address, "This is how we were warned it would be."*
7. Reverend Jesse Jackson (San Francisco, CA. / July 16, 1984):  
*Address to the Democratic Convention, "God is not finished with me yet."*
8. Ronald Reagan (January 28, 1986)  
*The Space Shuttle "Challenger" Tragedy Address.*
9. Bill Clinton (to church leaders in Memphis / November 13, 1993):  
*Remarks to the Church of God in Christ in Memphis, "If Martin Luther King were to reappear"*
10. Bill Clinton (Normandy, France / June 6, 1994):  
*President's Address at the US National Cemetery*
11. George W. Bush (Washington, D.C. / September 20, 2001):  
*Address to Congress After the Attacks of September 11*

◆ British Parliamentary Style

[参加人数] 8人 (1チーム2人 × 4チーム)



\*準備時間：論題発表から 15 分    各スピーチ時間：7 分

具体例を出せば、ドイツにおける社会民主党と緑の党の関係を考えてみて下さい。1998 年から 2005 年まで、両党は連立政権を組んでいました。60 年代の学生運動にその起源を持つ緑の党の方が議会では少数勢力でしたが、代替エネルギーへの補助や原子力発電所の全廃など、産業界に支持基盤を持つ社会民主党には出来ない政策実現に尽力して来ました。この様に、大多数には見逃されがちな、それでも重要な意見を出すことが、Closing チームには期待されています。



## SECTION 3. 即興でスピーチ（ノートの用意の仕方）

これまで、ノートを用意してスピーチをする場合、ほぼ全文を書いてもらいました。しかしながら、後のレッスンで学ぶディベートの試合や、実際に英語で人と話すときには、全文を書いて読み上げるのでは、準備に時間が掛かりすぎます。それで、段々と用意するノートを減らして、スピーチを出来るようにしましょう。半年ほど練習を続ければ、身近な内容であれその場でトピックを与えられて、すぐ3分間ほど話せるようになります。

## ○スピーチ用ノートのフォーマット例

- Motion(Case):
- Signpost:
- Reasoning:
  - ・ Under the current situation,
  - ・ Then, after we take this plan,
- Why important?

「学校の制服を、ポケットモンスターの着ぐるみにするべきだ」という様な、何かを提案するスピーチであれば、最低限左のフォーマットを使って話すことが出来ます。

次のページに、Lesson 4 で示した「バレンタインの日に学校でチョコレートを渡すことを禁止するべきだ」というス

ピーチの発表用メモを例示しました。どの様な工夫がされているか、考えてみましょう。また、ノートを用意する量を減らすためのテクニックとして以下の5点に気をつけて下さい：

- ・ 決まり文句は暗唱できるようにする（巻末の「表現集」を参照）。
- ・ 全体の話の構成が一目で分かるようにノートは用意する。
- ・ ノートを作る際には略称の記号を使う。
- ・ 具体例は、キーワードとなる名詞だけリストするにとどめ、その場で物語る。
- ・ 適切な英単語が思い浮かばない場合、それが名詞であれば日本語で言ってしまう。

## ○ ノートを用意する上での略し方

- (1) 長い語句は縮めて書く。  
例： Because ⇒ bec.  
For example ⇒ e.g.
- (2) 原因と結果の関係は、矢印(→)で示す。  
例： eat a lot → get sleepy in class
- (3) その場で補える語句（be 動詞など）は省く。

## スピーチ用ノートの例 (学校でのバレンタインチョコの禁止)

## ○ Motion:

I believe that the giving of chocolate on St. Valentine's Day should be banned in our school.

## ○ Signpost: the psychological harm on unlucky boys

## ○ Reasoning:

[Under the current situation,]

- ① Give Chocolate → boys happy
  - why? bec. being respected
  - the number of gifts = how popular
- ② No chocolate → unhappy
  - e.g. my friend got sick
    - absent school
    - missed classes

[Then, after we take this plan,]

- ③ No valentine → no unhappy boys / no class missed

## ○ Why important?

- what school is for = studying
- problems for studying → should be taken away

## Task 1.

これまでに書いたスピーチの原稿を見返し、上に例示された様なメモに作り替えて下さい。その後で、そのメモを使って、スピーチをして下さい。

## Task 2.

この Lesson の Section 2 にある論題集から 1 つ選び、前ページのフォーマットに沿ってスピーチを用意して下さい。ただし、準備にかかる時間は 5 分間だけです。

## SECTION 4. POINT OF INFORMATION

後のレッスンで導入されるイギリス議会をモデルとしたディベート形式（パーラメンタリーディベート）では、相手のスピーチ中に質問や反論を行う POI(Point of Information) という物があります。以下では普通のスピーチ練習と、その POI を組み合わせた練習方法を紹介します。

POI(「ピーオーアイ」、または「ポイ」と読みます)のルールは、以下の通りにまとめられます：

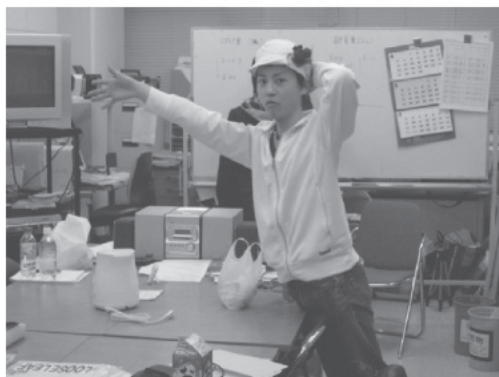
- ① POI を試みる場合、まず席から立ちます。
- ② 席から立った後で、“On that Point” や “Point, sir” 等の表現で、スピーカーから許可を求めます。
- ③ “No thank you” 等の表現で、スピーカーから POI を断られた場合は着席します。
- ④ “Yes, madam” 等の表現で POI の許しが出た場合、最大で 15 秒間相手のスピーチに対して質問や反論を行えます。話し終えたら、着席します。
- ⑤ スピーカーは、POI で出された質問や反論に対応することが期待されます。
- ⑥ スピーカーの返答に対してさらに何か言いたいことがある場合は、再度 POI の許可を求めます。

POI の宣言は、それと分かるものであれば何でも構いません。同様に断り方では、“No thank you” などと一言述べる以外にも、座るように手でジェスチャーする事でも構いません。POI で使える表現は、巻末の表現集を参照して下さい（「質問に関する表現集」に含まれています）。

POI はスピーカーに対して話しかける物であると同時に、他の聴衆に対してスピーチの疑問点・問題点を指摘するものでもあります。それ故に、POI では壇上のスピーカーだけでなく、他の聴衆の視線を意識し、語りかける必要があります。

後のレッスンで説明する通り、イギリス議会を模したパーラメンタリーディベート形式においては、書くスピーチの最初と最後の一定の時間は POI が出来ません（その時間帯は Protected time と呼ばれます。通常は、スピーチの最初と最後のそれぞれ 1 分間です）。

POI のポーズとして、片手で頭を押さえる習慣があります。これは、パーラメンタリーディベートがそのモデルとするイギリス議会で、かつて議員が質問に立つ際に、かつらがずれるのを手で押さえていた事を真似たものです（以前は専用のかつらを着用することが正装の一部であり、現在でもイギリス貴族院では着用している人がいます）。競技ディベートにおいては単なる慣習であり、近年では実際に頭を押えて POI をする人は段々少なくなっています（ただし、ディベーターの記念写真では欠かせないポーズです）。



【コミカルな POI のポーズ例】



【試合中での POI の様子】

参考までに付け加えると、様々に分化したパラメンタリーディベートの諸形式、その全てで POI があるわけではありません。8 人のディベーターで争う大学生世界大会の形式では、自分の 7 分間スピーチが終わってからも積極的に試合に参加する手段として POI はとても重要な機能を持っています。しかしながら、1 試合のスピーカーの数が少なかったり、スピーチ時間が短い形式では、むしろ POI は試合の妨げになる場合もあります。

### Task 3. 先生や先輩のスピーチに P O I

まずは先生や先輩にスピーチをしてもらい、その中で質問や反論のための POI をしてみましょう。聞いている人が POI を求めやすくなるように、スピーカー役の人にはちょっと極端な議論や例を用いて 3 分程度話して下さい。聞いている人は、POI をすることがスピーカーへの礼儀と思って、どんどん POI に立ってみましょう。

### Task 4. スピーチ発表の中で POI

これまでに何度かしたスピーチの発表で、聴衆の人はノートを取る代わりに POI をしてみましょう。スピーカーは POI を必ず 2 回取ること、聴取はそれぞれ 3 回 POI に立つこと、という様に何らかの条件を付けて下さい。

### Task 5. 「質問のあらし」

スピーカー役の人は、予め任意のトピックについてスピーチを用意しておき、前に出て立ちます。ただし、自分からスピーチを始めることは出来ません。代わりに、聴衆の人がスピーカー役の人に POI をする事を通じて、内容について話させ、そして反論や疑問をぶつけて下さい。制限時間は 3 分間です。

人数が多ければ聴衆をチームに分けて、制限時間内に出来るだけ多く POI に立ち、実際にスピーカーに取ってもらったチームを勝ちとして下さい。



## Part 1 Letter Writing and Role Playing

- Letter No. 1 ~ No.4

## Part 2 Picture Description Exercises

## Part 3 Class Debate Competition

- Sec 1 How we have the competition
- Sec 2 Manual for chairperson
- Sec 3 Using flow sheets
- Sec 4 Adjudication
- Sec 5 Memo on your rounds (試合の記録)

\*Part1 と Part2 では、ディベート以外にも、論理的に、わかりやすく伝える練習をします。ディベートを通して鍛えた話す力を、ディベート以外のスピーキング活動でも応用してみましょう。

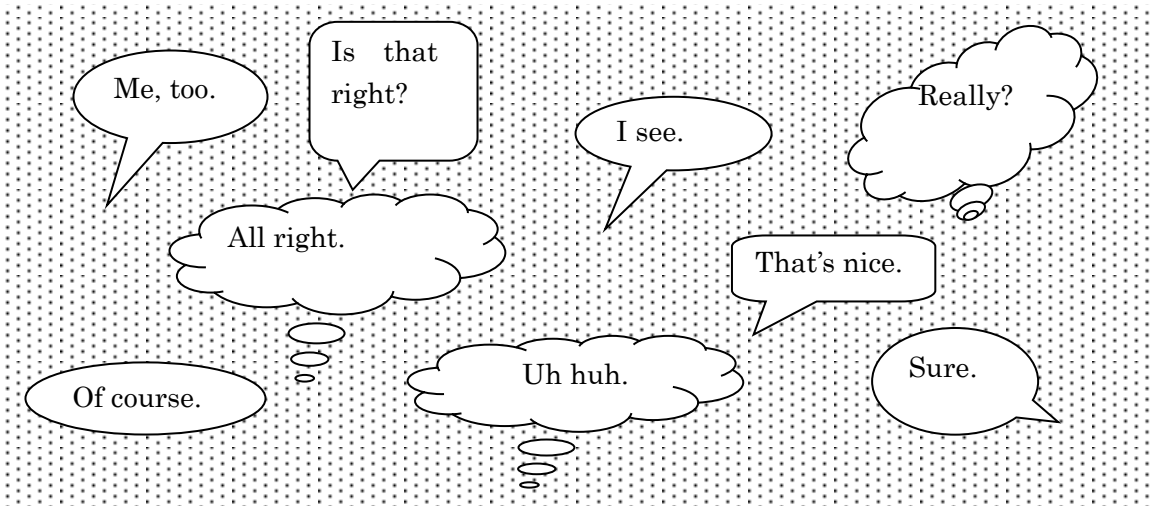


Getting to Know Your Classmates, Using Rejoinders

Target: Interview your friends, use rejoinders, and ask wh- questions.

Procedure:

- 1. Write your own answers.
- 2. Find a partner and do *janken*. The winner will start as follows.  
A: Hi, I am *Hanako*. Nice to meet you.  
B: Nice to meet you, too. I am Taro.  
A: Will you introduce yourself to me?  
B: Of course.  
Use rejoinders and ask wh-questions while listening.
- 3. Change roles. Start with "Will you introduce yourself, too?"



Your Answer		Your classmates' names		
I live in ... (Tokyo, Saitama, Chiba, Kanagawa...).				
It takes me ( ~ minutes / hours ) to get to school.				
I take ... ( ~ railway line ).				
My pastime is ....				
I am a member of ~ club.				

## ■ Lesson 3. 質疑応答 (Question & Answer)

### [Sec. 1] 明確化の問い Questions for Clarification

#### ■ Step 1 聞いて答えよう

If you can't follow a speech, you have to ask the speaker what he/she said. あなたが相手のスピーチについていけない場合は、次のように質問をして、その内容を復元してください。先生がスピーチを読みます（次のページにスクリプトがありますが、見ないこと！） ペアで答え合わせをしましょう。

#### (1) 聞き取れなかったことの確認 (Wh-questions)

Let me ask you some questions. \*語頭指定があれば従うこと。

(1) What is the topic of the speech?

It is the time to ( ) the ( ) period.

(2) What is the speaker's opinion on the topic?

It should start at ( ).

(3) How many reasons does the speaker have to support her/his opinion?

She/He has ( ) reason(s).

(4) What is the first reason about?

It is about ( c ) ( ).

(5) What is the second problem?

The speaker thinks students have to ( k ) ( ) in packed trains.

(6) What is the second solution?

The speaker thinks the only way is to ( ) to school ( ).

Thank you.



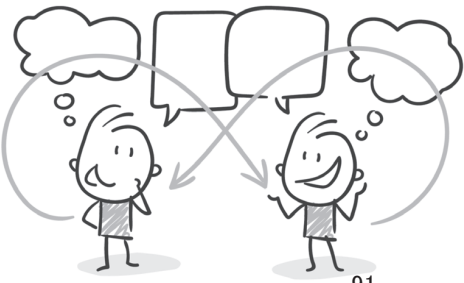
#### (2) 聞き取ったことの確認 (Yes-No questions)

- The topic of your speech is ..... Is that right?
- You believe ..... Is that right?
- You have ( one / two / three ) reasons to support your opinion. Is that right?
- Your first reason is ..... Is that right?
- Your second reason is ..... Is that right?

◆ Speech Script

Structure (構成)		Speech Script (スピーチ原稿)
Greeting (あいさつ) Introduction of plan (プランの導入)		Hello, everyone. Today, I want to argue that <u>the first period of our school should start at 7:30.</u>
Showing the structure of speech (スピーチの構成の提示)		I have <u>two reasons</u> to support my opinion.
Signposting (理由の名前の提示)		The first reason is <u>club activity</u> . Let me explain.
	Problem (問題の提示)	At present, we have very little time to take part in our club activities. Most of the high schools in Japan are closed about 6:00. We only have only one hour or so after school.
	Solution (問題解決の仕組み)	If the first period starts one hour earlier, we can enjoy our clubs longer than now.
	Importance (問題解決の重要性)	Why is this point important? This is because clubs give us joy and friends, which will support us in our future.
Transition & Signposting (二つ目の理由への移動と理由の名前の提示)		Next, let me explain the second reason. It is <u>comfortable train ride</u> .
	Problem (問題の提示)	As you know, when we come to school, most of us have to keep standing in packed trains with a heavy bag in our hand. We get very tired.
	Solution (問題解決の仕組み)	The only way to prevent this is to come to school earlier. Around 7 o'clock, the trains are not packed and we may be able to take a seat.
	Importance (問題解決の重要性)	This point is important because if we are not tired, we can study in a better condition and we can concentrate on our study.
Closing (スピーチの終わり)		For these reasons, I think the first period of our school should start at 7:30. Thank you.

Part 2





## HW ① 議論を含んだスピーチを書こう Writing an Argumentative Speech

Choose one plan among the five below and write an argumentative speech. We will use your speech to practice refutation. 5つのプランから1つを選び、立証的なスピーチを書いてください。そのスピーチを用いて反論の練習をします。なお、「～すべきだ」で表される案を今後「プラン」または「政策」といいます。

Plan for your Speech (選んだトピックの [ ] にチェックを入れること)

- ① [     ] Our school should abolish school uniform.
- ② [     ] The symbol of our high school should be [ Kuma-mon / (別のものでも) ].
- ③ [     ] High school students should do a part-time job.
- ④ [     ] Our school should keep penguins in the swimming pool.
- ⑤ [     ] All high school students should study abroad (at least) for a term.
- ⑥ [     ] We should have a convenience store in our high school campus.
- ⑦ [     ] The Japanese government should ban the giving of Giri-choco on St. Valentines' Day.



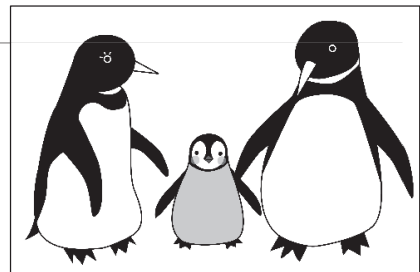
- Brainstorming & Outlining -

Signpost

Problem

Solution

Importance



(書き始める前に、このスペースを使って書く内容をブレインストーミングして下さい)

・時間の配分の目安： 10分あれば、2～3分を書く前の準備に使い、6分程度で実際に書き、最後の1分で見直し。

### Check List

- ☐ 書き始める前に内容を十分に考えた。
- ☐ 辞書で調べた難しい表現に頼りすぎず、自分の知っている表現を積極的に用いて英文を書いた。
- ☐ 書いた英文を読み返し、直せるだけ文法の誤りを直した。
- ☐ For example などを用いて十分に具体化した。  
⇒ 1文で終わりではなく、日記のように数文で何かストーリーを入れると良いです。

Hello, everyone. Today, I want to argue that		自分が肯定する政策を提示します。
I have one reason to support my opinion.		スピーチ構成を示します。
The reason is “ ”. Let me explain		理由を signpost で簡潔に述べます。
Problem	We have a problem.	現状で、どのような問題があるのか説明します。
Solution	Then, if we introduce this plan, we can solve this problem as follows.	その政策を導入すると、どのような仕組みで問題が解決するのか説明します。
Importance	Why is this point important?	どうしてこの問題を解決することが重要なのか、説明します。
For this reason, we should take this plan. Thank you.		スピーチ終了

Due date /

Word count( )

Class: Student No.: Name:

## [Sec. 2] 根拠のない意見を指摘する Pointing out Unsupported Opinions

### ■ Step 1 聞いて答えよう（事実と意見の区別） Distinguishing facts from opinions

Your teacher will read aloud 10 sentences. Listen and answer whether each of them is a fact or an opinion. これから先生が、10 の文を読み上げます。それぞれが事実か、それとも意見なのか答えて下さい。

#### 【Your Answers】

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| (1) [ Fact / Opinion ] | (6) [ Fact / Opinion ]  |
| (2) [ Fact / Opinion ] | (7) [ Fact / Opinion ]  |
| (3) [ Fact / Opinion ] | (8) [ Fact / Opinion ]  |
| (4) [ Fact / Opinion ] | (9) [ Fact / Opinion ]  |
| (5) [ Fact / Opinion ] | (10) [ Fact / Opinion ] |



Fact: something that can be proved, that actually exists, or that everyone agrees that it is true (証明でき、実際に存在し、あるいは皆が真実だと同意するもの)。

Opinion: someone's belief or judgment about someone or something (ある人が持つ、誰かあるいは何かに対する信念・判断)。

### ■ Step 2 文の分析：修飾語句に注意 (Qualifier words) s

Take a look at the sentences your teacher read aloud (see page 15). Underline the words or phrases that express the speaker's opinion. (15 ページにある先生の読んだ文を見て、その文が書き手の意見であると示す表現に下線を引いて下さい)

【Qualifier Words(修飾語句)】 Opinions can be recognized easily by checking what are called "Qualifier Words", which express values, feelings, and judgments.

① Adjectives(形容詞) and Adverbs(副詞)

e.g. wonderful / best / most / beautiful

② Auxiliary Verbs (助動詞)

e.g. must / should / may

③ Phrases that express the speaker's degree of certainty concerning the claim

e.g. probably / possibly / It is certain that ~ / surely

■ Step 3 スピーチ原稿の分析 (Analyzing a sample speech)

This time, your teacher will read aloud the speech below. As you listen, determine which sentences (from ①～⑧) contain an opinion. (先生が以下のスピーチを読み上げます。聞きながら、意見を含む文を①～⑧より選びなさい)

【Answer】 Sentences with an opinion are: [ ..... ]

Speech Script	
Hello, everyone. Today, I want to argue that all English classes should be taught by native speakers of English. I have one reason. The reason is “better communication skills”. Let me explain	
Problem	We have a problem. ① Japanese people study English for more than six years. ② However, they are not good at communicating in English. This is a problem.
Solution	③Then, if all English classes are taught by native speakers, we can solve this problem. ④Classes taught by native speakers must be more communicative than the classes taught by Japanese teachers. ⑤So, this problem will be solved.
Importance	⑥ Why is it important to solve this problem? ⑦ Japan should be more internationalized. ⑧For that purpose, promoting the communication skills in English must be important.
For this reason, we should take this plan. Thank you.	

Part 2

■ Step 4 根拠のない意見の指摘 (pointing out unsupported opinioins)

Opinions must be supported by some evidence or examples. If you find any unsupported opinions, you should question them in debate (and in your daily lives). Using the format below, ask your teacher for supports for her/his opinions. (以下のフォーマットを用いて、先ほどのスピーチで見つけた根拠のない意見について、先生に質問して下さい)

(1)Questions to point out unsupported opinions (根拠の無い意見を指摘する質問)

You said ..... (←相手の意見を引用)  
But [ do you have any evidence? / isn't it just your opinion? ]

◇この質問は、本当かどうか疑わしい事実について、その証拠を求める際にも使います。

## [Sec. 3] 因果関係の問題の指摘 (Pointing out Flaws in Causality)

### ■ Step 1 聞いて答えよう (出来事の因果関係)

Your teacher will deliver an argumentative speech. Arrange the following events in order as told in the speech (スピーチを聞いて、プランの導入で発生する出来事を、スピーチで述べられた順番に並べ替えなさい).

#### Vocabulary List

air conditioner: エアコン climate change: 気候の変化 polar bear: ホッキョクグマ  
melt: (氷などが)溶ける the North Pole: 北極 global warming: 地球温暖化  
fossil fuel: 化石燃料 reduce: ~を減らす reduction: 減らすこと  
CO<sub>2</sub> emission: 二酸化炭素の排出

- ① 二酸化炭素の排出が減る (reduction in CO<sub>2</sub> emissions)
- ② 電気の使用量が減る (reduction in the amount of electricity use)
- ③ ホッキョクグマが生き延びる (survival of polar bears)
- ④ 地球温暖化を食い止める (prevention of global warming)
- ⑤ 化石燃料が節約される (saving fossil fuels)
- ⑥ 学校のエアコンを止める (stopping the use of air conditioners)
- ⑦ 北極の氷が増える (more ice in the North Pole)



[ ..... → ..... → ..... → ..... → ..... → ..... ]

### ■ Step 2 出来事の因果関係についての質問

When we explain how a plan solves a problem, we usually explain the causality of events (i.e. A causes B). Sometimes, the causality is not clear or doubtful. In such cases, you should ask questions on how an event causes another event. Use the format below to ask your teacher a question on the causal relation between two events. (プラン導入で問題がいかに解決されるかを説明する際には、ある出来事が別の出来事を引き起こすという、因果関係を説明します。この因果関係は、時々明確ではないか、疑わしい場合があります。そんな場合は、以下のフォーマットを使って質問をしましょう。練習として、上で聞いたスピーチについて先生に質問してみましょう)

#### (2) Questions to point out flaws in causality (因果関係上の問題への質問)

You said [ if we ..... ], [ we can ..... ].

↑ 原因の出来事

↑ 結果の出来事

But do you have any evidence? (←因果関係の存在が怪しい場合)

how much difference does it make? (←因果関係を認めても、変化が殆ど無いと疑われる場合)

### 【Sec.2 Step 1】

- (1) Ikebukuro is the best place to study in Japan.

(2) Ikebukuro is in Tokyo.

(3) A tiger has four legs.

(4) Tigers are better pets than rabbits.

(5) Children are not allowed to drive a car in Japan.

(6) Driving a car can be dangerous.

(7) The novel, *Kokoro* was written by Soseki Natsume.

(8) The novels written by Soseki Natsume are interesting.

(9) The day of Halloween should be a national holiday in Japan.

(10) The day of Halloween is October 31st.

【Sec 3. Step 1】 因果関係を示す語句にアンダーラインしよう

Speech Script	
Hello, everyone. Today, I want to argue that we should not use the air conditioners in our high school.	
I have one argument.	
The argument is “protecting polar bears”. Let me explain	
Problem	We have a problem. Many polar bears are dying because of the climate change. The ice in the North Pole is melting because of the global warming. So, the place where the polar bears can live is disappearing.
Solution	Then, if we introduce this plan, we can solve this problem as follows. If we stop using air conditioners, we can reduce the amount of electricity we use. Then, we can save the fossil fuel needed to produce electricity. This leads to the reduction of CO <sub>2</sub> emissions. Less CO <sub>2</sub> emissions mean less global warming. Less global warming results in more ice in the North Pole. Therefore, polar bears can have more chances to survive.
Importance	Protecting polar bears is important because they are cute animals.
For this reason, we should take this plan. Thank you.	

Part 2

\* 英語の授業で読んだ英文を見返して、この Opinion と Fact の関係について確認してみよう。

## - Signpost について -

Signpost(直訳すれば「標識」です)とは、新聞の見出しのように議論全体をひとことでまとめた名詞句、または名詞的な表現で、

キャッチコピーのような働きをします。次に Country life is better than city life というトピックに関する signpost の例を示します。

### 【良い例】

- <比較級 + 名詞> better experience for children  
healthier life
- <動名詞 + 名詞> enjoying good environment  
having close human relationship
- < 形容詞+名詞> comfortable life

### 【悪い例】

- <単語 1 つで何のことかわからない> × nature  
× people
- <2 つ以上の理由をのべている> × high cost and waste of money
- <個人的なこと・議論内の具体例を取り上げている>  
× my favorite lifestyle  
× my grandparents in Nagano
- <形容詞で表現する> × convenient × difficult  
⇒ なにが便利で何が難しいのか分かりません。

### 【注意が必要な場合】

- <文で表現する> × children can have better experiences  
× we can have a relaxed life  
⇒ ノートを取る人が困らない程度の長さであれば使用可



## ◆ The format for refutation (反論のフォーマット)

- ・ <人名> said ..... (これから反論する内容の要約)
- ・ However, this is
 

① not (	) 「正しくありません」
② not (	) 「いつも正しいとは限りません」
③ not (	) 「重要ではありません」
④ not (	) 「関係ありません」
⑤ (	) 「容易に解決されます」
⑥ (	) 「逆です」

Words List: [ important / always true / relevant / the opposite / true / solved easily ]

## ■ Format for Presenting Refutation (反論の発表用フォーマット)

Let me refute [ what the previous speaker said / your argument ].

[ He / She / You said ] [

..... ]

However, this is ( ..... ) because [

..... ]

Therefore, [ His / Her / your ] argument does not stand. Thank you.





## ◆ Part 1. スピーチ練習 / Section 3 「質問をする」

誰かのスピーチを聞き、質問をします。

- 1) まずは、スピーチが終わった後で、30 秒～1 分ほど質問タイムを持ちましょう。必ず質問を 1 人 1 回する。質問の数が少なかった人が次にスピーチをする。面白おかしい質問をしても構わないことにするなど、盛り上げる工夫をしてみてください。
- 2) 次の練習として、スピーチの途中で質問をします。質問をする人は「May I ask you a question / I have a question」などと言って、質問をする許可を求めてください。スピーチをしている人は、「Yes, please」などと言って許可をするか、「Not now」などと言って断ってください。

### ■ 質問用表現集

#### (1) 時間・頻度・数に関して

- ・ How often do you ~ ? 「どれだけ頻繁に～しますか？」
- ・ When did you do that? 「いつそれをしましたか？」
- ・ When will you do ~ next time? 「次はいつ～しますか？」
- ・ How long does it take to do that? 「それをするのにどれだけ時間がかかりますか？」
- ・ How many ~ do you have? 「どれだけ～を持っていますか？」

#### (2) 具体化を求める

- ・ Could you give me some example? 「具体例をもらえますか？」
- ・ Could you be more specific? 「もう少し子細に話してくれませんか？」
- ・ What do you mean by saying ~ ? 「～という言葉で何を意味しているのですか？」

#### (3) 人・物の様態に関して

- ・ [Who / What] is ~? 「～とは [誰/何] ですか？」
- ・ What is [ he / she ] like? 「その人はどんな人ですか？」
- ・ How [cute など形容詞] is ~? 「～はどれだけ可愛いのでしょうか？」

#### (4) 場所に関して

- ・ How can I get there? 「どうやってそこに行けますか？」
- ・ How long does it take to get there? 「そこに行くのにどれぐらいかかりますか？」
- ・ How far is it from ~ ? 「～からどれぐらい遠いのですか？」

#### (5) 理由を聞く

- ・ Why do you think so? 「どうしてあなたはそう思うのですか？」
- ・ Why did you ~ ? 「どうして～したのですか？」

### ◆ Part 3 相手の意見に対応する / Section 1 「POI をする」

Part 2 で用意した原稿を誰かに発表してもらい、スピーチを聞き、そして質問をします。パ  
ーラメンタリーディベートでの質問は、Point of Information(POI、ピーオーアイまたはポ  
イと略称します)。POI の手順は：

- 1) 質問をしたい人はまず席から立ち「Point」と言って、質問をする許可を求めます。
- 2) スピーチをしている人は、「Yes, Please」と言って許可をするか、「No thank you」  
または「Later, please (あとで)」と言って断ってください。
- 3) POI では、質問は 15 秒以内に終えないといけません。
- 4) POI に対して、もちろん答えることがスピーカーには期待されます。
- 5) 一回断られたら、15 秒～30 秒ぐらい間を置いてから再び試みて下さい。

以下にまとめられたように POI は単なる質問ではなく相手の議論の弱点を指摘するものです。

#### ■ POI で指摘すべきポイント

- ◇ 因果関係の飛躍を指摘する。
  - ・ You said A leads to B. However, that is just your imagination. Tell us more.
- ◇ 根拠のないただの意見を指摘する。
  - ・ You said ～, but that is just your opinion.
- ◇ 反証を述べる。
  - ・ You said ～ , but <反証となる例> . What do you think?

#### ■ POI 用表現集

- ◇ POI を求める
  - ・ Point of information! / Point!
- ◇ POI を受ける・断る
  - ・ Yes, please / Go ahead
  - ・ No thank you / Please take your seat / Later please / I will take your point later.
- ◇ POI の内容に対応する
  - ・ Thank you for your point, but it is not [ relevant / true / important] because ～
  - ・ However, what you have said is not [ relevant / true / important] because ～
  - ・ Thank you for your question. That's exactly what I am going to tell you now.
  - ・ So, let me go back to my speech. (POI の内容から元のスピーチ内容に戻る時の表現)
  - ・ I will explain it later in my speech. (何と言いつたらよいかわからなかったら、とりあえずこう言って流して下さい。残念ですが、沈黙してしまうよりはましです)